

# むらまち通信

第188号

2015年11月1日 発行



## 「ドイツESD活動、エネルギー教育」を体験。



### ○ 実施状況

- ・ 日 時：平成27年10月31日（日）9:00~12:30
- ・ 場 所：八剣山果樹園
- ・ 内 容：スライドでドイツESD活動エネルギー教育ソーラークッカーづくり
- ・ 主 催：八剣山発見隊
- ・ 参加者：10人

八剣山は紅葉もほぼ終わり、冬の装いを現しはじめています。今回はその麓の八剣山果樹園において、札幌市環境保全アドバイザーで幅広く環境保全活動に携わっているピアンカ・フルストさんから、八剣山地域で実施しているドイツの環境教育やエネルギー教育に関する活動（EDS活動：全ての人々が持続可能な未来の実現に必要な知識、技能、生活態度、価値観を身につけることができる教育・学習活動）についてお話を伺うとともにソーラークッカーを作成しました。

八剣山果樹園のピアンカハウスでは、太陽光や風車により発電して電気を蓄電池に溜めて使用しているほか、太陽熱を利用したソーラーコレクターにより温水を作って、熱交換により水を温め台所で使用していました。意見交換では参加者の中にも、以前太陽熱を利用して温水を作り、それをお風呂などに使用していた事例なども発表されました。

ドイツのESD活動紹介や意見交換に続いて、段ボールを利用したソーラークッカーづくりを行いました。

用意した段ボールをピアンカさんが用意した図面に基づき長方形に2枚切り取って、折り曲げる部分に浅くカッターで切り線を入れてから、段ボールの四隅と切り線に沿って両面テープを貼ってアルミホイルをシワにならないよう張り、2枚を組み合わせて完成させました。

参加者が作ったソーラークッカー2台は1時間ほどで完成しました。しかし当日は朝から空には厚い雲がかかっており、残念ながらその効果を確認することはできませんでした。

なお作成の途中では、手作りのソーラードライで乾燥させたイチゴやサクランボ、プルーンを入れた紅茶やアレルギー体質の人も食べられるケーキで一服したところです。



ソーラークッカーづくり



乾燥プルーンの紅茶で一服



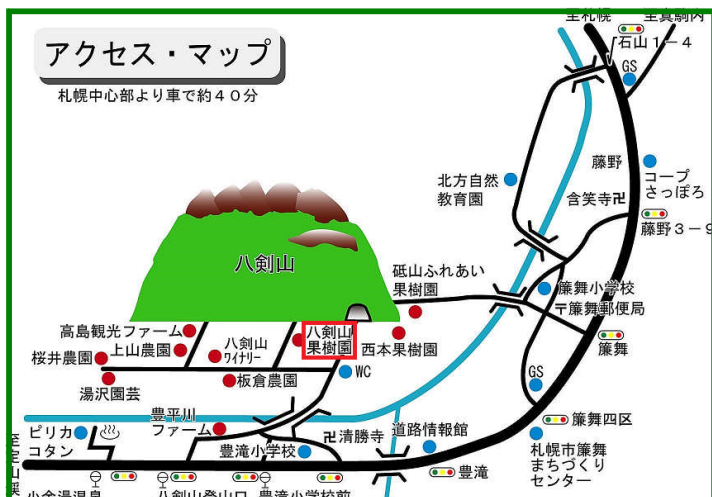
八剣山でのESD活動紹介



屋根上のソーラーコレクター



完成したソーラークッカーを並べて



発行：塚本むらまち計画研究室  
主宰 塚本 保弘

061-1276  
北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10  
携帯電話：090-7515-7057  
E-mail：thuka@rose.ocn.ne.jp